

令和5年度 学校評価考察

【学習面】

- ・児童アンケート「学校の授業は楽しいですか。」の項目について、昨年度同様に肯定的意見が90%弱と高評価でした。授業中に、友達と一緒に考えたり、話し合ったり、伝えあったりする活動を意図的に設定しています。協働学習を通してお互いを高めあう学びにつながっていることが、児童の学習意欲の向上につながっていると考えます。
- ・保護者アンケート「学校は、子どもたちに学習しようとする意欲を育てている」の項目で、肯定的な意見が昨年度より5%以上、上がりました。今後も、上記のように、交流をしたり、端末を活用して個別学習をしたりしながら、学習意欲が高まるよう、工夫改善して参ります。
また保護者アンケート「子どもは学習の基礎・基本（計算や漢字等）の力がついている」の項目では昨年度同等の肯定的意見でした。鉛筆や定規を使ってノートに漢字練習をしたり計算練習をしたりする従来の学習方法も小学校の学習過程では非常に大切です。更に、学習用端末で1人1人の学習履歴の把握や自分に合った進度・量で学習課題に取り組むなど個別最適化された学びを今後推進して参ります。
- ・児童アンケート「本をよく読んでいますか」保護者アンケート「子どもは、本をよく読んでいる」の項目で、児童では、すべての項目の中で一番低い割合（約70%）でした。保護者では、昨年度より6%ほど下がり肯定的な意見は約40%弱でした。「読書」について、本校の課題であると考えます。図書室の利用の仕方や国語に限らず、教科横断的な視点で工夫改善を考え、読書活動に取り組みます。

【生活・安全面】

- ・保護者アンケート「子どものことで学校に相談しやすい。」の項目で約80%弱、「子どもは、友達と仲良く過ごしている。」の項目で約90%と高い肯定的評価をいただいています。生徒指導上の問題、人間関係のトラブル等を早期発見・早期対応のため定期的ないじめアンケートの実施や子どもや保護者からの情報を管理職と共有し、チームで迅速に対応する体制を整備しています。また、外部機関（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・スクールサポーター・子ども支援室・児童相談所等）とも積極的に連携を図り、教育相談の充実も図っています。また、スクールカウンセラーの面談をもう少し増

やしてほしいとのご意見がありました。スクールカウンセラーの配置については、回数が決められております。市のカウンセラーについては、他校ではありませんが、面談可能な日もございますので、周知していきたくと思います。

- ・「学校はいじめのない学校づくりに努めている」の項目で肯定的な意見が昨年度より8%以上、「友達とけんかしたり、悩み事があったりした時に、自分から進んで解決しようとしている」の項目では、約9%上がりました。先生方が子供たちに寄り添って対応していることが保護者の方にも伝わっているのだと思います。今後も継続して参ります。また、子供たちの解決する力が高まっていることもこの結果に表れていると思います。道徳などを中心に指導・支援していきます。

- ・安全面での情報共有や注意喚起などの遅れがあり、ご心配をおかけしました。危機管理について、迅速に行ってまいります。

【学校行事】

- ・運動会や音楽発表会など学校行事は、すべて行うことができました。今年度は、創立50周年であったこともあり、記念式典や記念イベント、そして、特別に50周年記念運動会も行いました。子供たちが元気よく活動する姿を見ていただくことができうれしく思います。入場整理・後片付け等にご協力いただきありがとうございました。アンケートにて、「子どもたちの活躍の場を公開していただきよかった」などの肯定的なご意見を多くいただきました。方法や内容、開催曜日など、いくつかご意見も頂戴しておりますので、来年度に向けて、検討していきたくと考えております。
- ・持久走大会について、開催方法や日程などについてご意見をいただきました。来年度の持久走大会について、どのように行いかを検討しております。（大会ではなく、記録会にするなど）

【学校・家庭・地域連携】

- ・藤心コミュニティ・スクールでは、3学期から「昼サポート先生」として、木曜日の昼休みに地域の方による見守りを行いました。日常の学校教育活動に地域の方々や保護者の方々の支援が加わることで教育効果は大きいものがあると考えています。学校・家庭・地域が三位一体となって協力し合い、更に連携・協力を推進して参ります。

※アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
今後の学校運営に生かして参ります。裏面の表もご覧ください。